

令和5年度

# 三沢市教育委員会

## 会 議 録

10月定例会

## 三沢市教育委員会 令和5年度 10月定例会

1 日 時 令和5年10月26日(木) 14時30分 開会  
14時50分 閉会

2 場 所 三沢市役所 別館4階 第1研修室

### 3 出席委員

教 育 長	山 内 康 之
委 員	本 江 宏
委 員	黒 沢 のぞみ
委 員	松 森 まゆみ
委 員	小 向 香 織

### 4 出席職員

教育部長	田 辺 正 英
教育総務課 参事兼課長	岡 部 章 典
教育総務課 副参事兼課長補佐	和 久 美登里
教育総務課 副参事兼課長補佐	池 田 修
学務課 課長	木 村 友 昭
学務課 課長補佐兼学務係長	浪 岡 さゆり
学校教育課 課長	藤 田 文 明
学校教育課 指導主事	近 松 慎 司
生涯学習課 課長	舘 郷 司
生涯学習課 課長補佐兼生涯学習係長	柿 崎 竜 平
学校給食センター所長	石 井 聡
学校給食センター所長補佐兼施設係長	小比類巻 政光
教育総務課 教育総務係長(書記)	宮 木 ひと美

5 傍聴者 2名

6 議事日程 別紙のとおり

**【別紙】**

三沢市教育委員会 令和5年度10月定例会 議事日程

開会

第1 会議録署名委員の指名

第2 会期の決定

第3 前回会議録の承認

第4 その他

閉会

---

○開会

■山内教育長

ただ今から、令和5年度10月定例教育委員会を開会いたします。それでは、お手元に配付してある議事日程により、会議を進めます。

---

○日程第1 会議録署名委員の指名

■山内教育長

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、本江委員と松森委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

---

○日程第2 会期の決定

■山内教育長

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日26日の1日でよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、本日の1日といたします。

---

○日程第3 前回会議録の承認

■山内教育長

前回、会議録の承認について、お諮りいたします。前回の会議録は、お手元に配付しておりますが、会議録のとおり承認としてよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、承認といたします。

---

○日程第4 その他

■山内教育長

続いてその他に移ります。委員の皆様にお知らせする事項をお手元に配付しておりますので、教育総務課から順にお願いいたします。

■教育総務課長

ございません。

■学務課長

学務課より報告いたします。10月12日、弁護士・弁理士による「教職員の課題対応能力向上研修会」を10月定例校長会で実施、開催いたしました。講師は八戸市にある弁護士法人たいよう総合法律経済事務所の上野大輔氏でした。内容は、学校で発生する問題に対応する際に心がけることや、市内小中学校長から事前に出された個別の事案について、法的な視点立場で指導助言をいただき、大変有意義な研修となりました。新規事業である、学校弁護士事業の一環として実施したわけですが、今後は、校長先生方以外の教職員を対象とした研修会を冬休みに実施したく、検討して参りたいと思っております。以上です。

■学校教育課長

学校教育課からその他の報告事項を二つ説明いたします。一つ目は、令和6年度青森県立高等学校入学者選抜の日程等についてです。県立の高等学校、三本木高等学校附属中学校、特別支援学校の入学者選抜の日程を載せてあります。日程は例年通りとなります。二つ目の、一人一人の児童生徒が安心して生活できる学校作りアンケート結果については、担当から説明いたします。

■近松指導主事

それでは、三沢市の教育相談体制充実のための取組について説明いたします。一人一人の児童生徒が安心して生活できる学校づくりアンケート実施要項をご覧ください。この取組は、1の目的にあるように、「三沢市の児童生徒一人一人が、望ましい人間関係に支えられ、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、年1回、統一した質問項目での教育相談アンケートを取り、児童生徒の心の状態を把握し、各校における指導体制の向上を図る」ことを目的として、令和4年度から開始いたしました。3の実施時期にあるとおり、アンケートは2学期が始まって1週間ほど経過した、8月28日（月）から9月8日（金）の期間に小学校4年生以上の全児童生徒に実施していただきました。次のページをご覧ください。アンケートの質問項目です。質問項目は、昨年度と同じで「学校は楽しいですか」「悩み事がある場合の相談先」「家に帰ってからの時間の使い方」「心の晴れ具合」と「1段階心が晴れやかになる、もしくは晴れやかさを続ける方法」の5項目です。それでは、三沢市全体の結果についてお伝えします。次のページをお開きください。問1「学校は楽しいですか？」の問いに対して、平均値が一番低かった学年は、小学校6年生の3.7でした。昨年度、5年生時も平均値が一番低く3.6でした。昨年度よりも0.1ポイント上昇しましたが、今年度の小学校6年生は、1学期に取った別のアンケートにおいて、家庭でのメディア利用時間が多いという結果が出ている学年であり、引き続き対応が必要であると考えております。続きまして問2「学校生活や家庭生活において悩み事があるとき、誰に相談しますか？」を複数回答してもらいました。「学校生活や家庭生活で悩みがある」ということはごく普通のことであり、それを相談する相手がいるかどうかがとても大切であると考えております。「いない」と回答したのは小学生27人、中学生32人です。いずれも昨年度より増加し

ました。「ペット」や「ネットの友達」などと回答した児童生徒とともに対応が必要であると考えております。続きまして、問3「平日、帰宅後、どのように時間を使いますか？」についてです。学習時間が1時間以下と回答した割合が最も低かったのは、中学校1年生となっております。昨年度も同様の結果となっております。やはり、中学校1年生は小学校のときよりも学習内容が難しくなるなどの理由から家庭での学習時間が増加する傾向があるようです。なお、平日の学習時間を2時間以上と回答した割合が最も高いのは2年生でした。昨年度の中学校3年生で学習時間を2時間以上と回答したのが、12.9%いたことを考慮すると、今年度の3年生は8.9%とやや低い結果となっております。また、1日の手伝いの時間が2時間以上と回答した小学生が23人、中学生が21人おります。この中には、本来大人がしなければならない家族のケアを児童生徒がしなければならないといういわゆるヤングケアラーであったり、虐待の可能性があったりする児童生徒が含まれている場合がありますので、各校にこの児童生徒の状態の把握をお願いしました。続きまして、問4「心の晴れ具合」についてです。中学校1年生の平均値は昨年度の6年生時の平均値よりも0.3ポイント上昇しました。今年度の中学校1年生は問1の平均値も0.2ポイント上昇しており、中学校入学後の学校生活は比較的スムーズに進めることができたように思われます。ただ、中学校2年生は昨年度から0.5ポイント下降していますので、注意が必要かもしれません。最後に問5「1段階でも心が晴れやかになる方法」についてです。昨年度同様小学生は「遊ぶ」が最多であり、進級するとともに「音楽」が多くなっております。小中学生いずれにおいても「ない」と回答した児童生徒がおります。各校で対応が必要であると考えております。この集計結果は先日の校長会において、各校校長

先生方に示し、各校の状況に応じた対応をお願いしました。また、昨年度、臨床心理士の資格を持っている成田スクールカウンセラーによる「感情のセルフコントロール」や回復力向上を目的とした「レジリエンス」など各校の状況に合わせた、不登校予防プログラムを実施した学校が複数校あります。今年度もこの成田スクールカウンセラーの活用や各校に派遣している心の教室相談員やソーシャルワーカーなども含めた、教育相談体制の強化をお願いしました。今後も、三沢市内の児童生徒一人一人が安心して生活できる学校づくりを目指して取り組んで参りたいと考えております。 以上でございます。

#### ■生涯学習課長

ございません。

#### ■学校給食センター所長

学校給食センターから1件ご報告いたします。スターゼン株式会社様から今年度の学校給食用豚肉の提供の申し出があり、昨日、教育長室において贈呈式が行われ、スターゼンミートプロセッサー株式会社青森工場内澤取締役工場長がお越しになり、教育長に目録を手渡しました。提供いただいた豚肉は、三沢市のブランド豚「川賢こだわりポーク」400kgで、給食センターでは、青森県産や三沢市産の食材を多く使った献立の青森県食育月間である来月11月14日こだわりポーク丼、22日こだわりポークの肉豆腐汁、30日こだわりポークカレーのメニューで児童生徒に提供いたしますことをご報告いたします。以上です。

#### ■山内教育長

ただ今のその他の報告時事項に対し、委員の皆様からご質問等ございますでしょうか。

#### ■本江委員

学校教育課の方のアンケート、一人一人の児童生徒のアンケート結果からみて、小学生、中学生はコロナ禍を過ごしてきましたが、そのアンケート結果にコロナの影響はみえているのでしょうか。

#### ■学校教育課長

このアンケート自体が昨年度から始めたもので、まだデータが2年分しかないので、その影響かと言われると、まだそこまでの繋がりには把握できていない状況です。

#### ■本江委員

わかりました。

#### ■山内教育長

他にございますか。

#### ■黒沢委員

学務課からご報告いただいた、弁護士さんによる研修会のことについてですけれども、大変重要な取り組みだと思っております。率直に校長先生方は、この機会をどのように受け止めておられたのか、というのをもう少し知りたいなと思いました。

#### ■学務課長

校長先生方の直接の声ですけれども、非常にためになったと、また、今までにそういう視点で考えたことがなかったので目から鱗が落ちた、といった言葉が寄せられておりました。

#### ■黒沢委員

もう一つ追加として、保護者対応についても、子供たちの性格とか能力とか様々なように、保護者も同じように大人になっている方々なので、保護者対応の事故・事件に関わ

らず、そういった特異性を持った関わりのある研修会等に広げていただいたり、次は教職員の方々にも実施を検討されているということは、本当に良い機会だと思っています。ありがとうございます。

#### ■山内教育長

他にございませんか。ないようですので、その他については終わりいたします。

最後に委員の皆様から委員会事業等について確認したいことやご意見、ご感想などをお願いします。

#### ■小向委員

本日の式典と祝賀会の準備等、大変お疲れ様でした。4年ぶりの開催ということで大変であったのではないかと感じました。それと先日、研修会で阿光坊での研修、また小川原湖の湖畔の方でも研修させていただきました。引率していただいた方々、どうもありがとうございました。小川原湖周辺の貝塚より、縄文時代の人々の生活や文化を知ることができ、三沢市にかなり古い時代から、人が住んでいたということを知りました。すごく貴重な体験でしたので、これを教育の方に繋げていっていただければ、また活用していただければと思います。ありがとうございます。以上です。

#### ■松森委員

今月は生涯学習課の事業の文化財講座に始まり、社会教育施設の視察、それからゆめチャレ教室、たくさん行事に参加させていただきました。文化財講座は、2日間で100名ほどの来場者だったというふうにお聞きしておりました。そのイベントのチラシですね、目を引くものでしたし、それから展示解説のガイドさんがいたので、とても良かったなというふうに思いました。そして展示品

に関する「民俗くいず」を出していただいて、とても楽しかったなというふうに思いました。クイズにしてくれることで、当時の人がどのように暮らしていたのかとか、道具の使い方とかを再確認することができました。歴史の勉強が始まる6年生の皆さんにも見てほしいなというふうに思いました。ゆめチャレ教室は、進行の仕方がとても楽しくって、子供たちを引き込むのがとても上手くて、流石だなと思いました。毎年行っている事業でも、もっと良くしようとか、もっと楽しくしようという、委員会の皆さんの意気込みが伝わってきたなというふうに感じました。ありがとうございます。以上となります。

#### ■黒沢委員

旧六川目小学校の文化財展示については、松森さんからもお話ありましたように、例えば常設展示では難しいかもしれないけれども、学校の要望に応じて、その時だけのご案内していただけたらとか、本当にもったいないなと思うところがあります。しかも旧六川目小学校に展示されているものは、きっと子供たちのおじいちゃんおばあちゃんが、ちっちゃい時に使われていたものにも触れることができるので、世代間の交流にも繋がるのかなと思うところですので、活用していただければと思います。本日、三沢市の功労賞と文化功労賞に参加いたしました。祝賀会で隣席した当文化協会委員の伊藤さんとお話する機会があり、三沢には色々な文化や文化的な授業が行われているけれども、もう少し子供たちに、より伝わりやすいような形になればいいなというような、子供伝統芸能に携わっている方からのお声でしたので、少しでも子供たちに伝統文化がもっと身近に感じられるようになってほしいなというお言葉をいただいております。あと、このアンケートの感想ですけれども、自分自身の子供を通

してという主観の部分もあるのですが、この勉強時間の1時間、2時間、3時間っていったところに、子供たちが自分たちで具体的に目安を持てているのかなって。今1時間って答えた子は、特に何も考えずに2時間を目指そうとしていたら、本当に心苦しくなるのではないかなって。なので、もしかしたら時間というよりは内容を示すとか、例えば1ページ、昔よく1ページ学習っていう言葉があったように、時間ではない示しの方が、直接子供を教育している立場ではありませんが、保護者としての意見ではありますけども、永遠に終わらない学習量を想像させるようだときつと、子供たちは心苦しくなるだろうなって思うところがありました。ですので、内容に具体的なイメージを持てたらいいなって。以前、秋田に研修に行かせていただいた時に、秋田県大館市の小学校の先生がおっしゃっていました「学習は反復なんだ」と。結局、知識技能は、繰り返し、繰り返しをしなければ失われていく能力なので、いかに効率的に反復が行われるかって言うふうにおっしゃっていました。ですので、時間で示すのも、もちろんアンケートなので何かしらの指標がないと無理だと思うのですが、子供たちがこれを具体的に、どうイメージするかは気になるところでした。以上です。

#### ■本江委員

まず忙しい2学期といますか、学校行事、文化祭、中体連、その他諸々の行事で、これからの生徒会の選挙とか、中学2年生は3年生の役割を果たしていく時期になっていくわけですが、そういう中で、文化祭も無事、何事もなく終わることもできて、非常によかったなと思っています。子供たちが一生懸命に活躍したという話を聞いています。ということで、子どもたちは落ち着いた学校生活を送られているのだな、というふうなことと、

先生方が子供のペースを守ってくれているなど一安心してました。先ほど受験日の話ありましたが、3年生これから受験に向かうと思います。恐らくですけども、塾に通うお子さんたちが非常に増えてくると思います。そうすると夜、出歩くことになりますので、交通事故を含めて非常に気を付けていただきたいなと思っています。もう一つ、最近ちょっと話題になっていましたが、今朝もニュースになってましたリースクールですね。これは、私達も気にかけていかなければいけないことだと思っていますので、これからちょっと勉強していきたいと思っています。よろしく願いいたします。以上です。

---

#### ○閉会

#### ■山内教育長

ありがとうございました。以上で、日程は全て終了いたしました。

これを持ちまして10月定例教育委員会を閉会いたします。

11月の定例会の日程でございますが、11月27日、月曜日、午後2時に開催したいと考えておりますがいかがでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、ご異議ございませんので、11月定例会は、11月27日、月曜日、午後2時からいたしますので、よろしく願いいたします。

---

#### 閉会 14時50分

#### ■会議録署名者

教育委員 本江 宏



教育委員 松 森 まゆみ

書 記 宮 木 ひと美